

知床半島ヒグマ管理計画の進め方について

知床半島ヒグマ管理計画を科学的知見に基づき推進するため、学識経験者からなる「知床世界自然遺産地域科学委員会」及びその下に設置される「エゾシカ・ヒグマワーキンググループ」を定期的に開催し、計画の科学的な評価・助言を得る。また、管理計画に基づく各種対策を確実に計画的に実行するための年度ごとのアクションプランを定め、関係行政機関で組織する「知床ヒグマ対策連絡会議」において実施状況や実施結果を点検する。さらに、計画の実施について、地域の理解・協力を得るため、「知床世界自然遺産地域連絡会議」において定期的に計画の進捗や実施状況を報告する。

このほか、地域関係団体、地域住民、利用者に対しては、計画の内容について十分な広報周知を行いつつ、合意形成を図りながら本計画の対策を進めていく。

※知床半島ヒグマ管理計画「12.（3）計画の進め方」参照。

知床ヒグマ対策連絡会議

知床半島ヒグマ管理計画に基づく年度ごとのアクションプランの策定及びその実施状況等の点検を行う。また、管理計画に基づく各種対策（対ヒグマ、対人間）の具体的な内容について検討・連絡調整を行う。

開催：2回程度／年度

エゾシカ・ヒグマワーキンググループ

知床半島ヒグマ管理計画の実施に関する科学的な評価・助言を行うとともに、その結果を科学委員会に報告する。

開催：2回程度／年度

知床世界自然遺産地域科学委員会

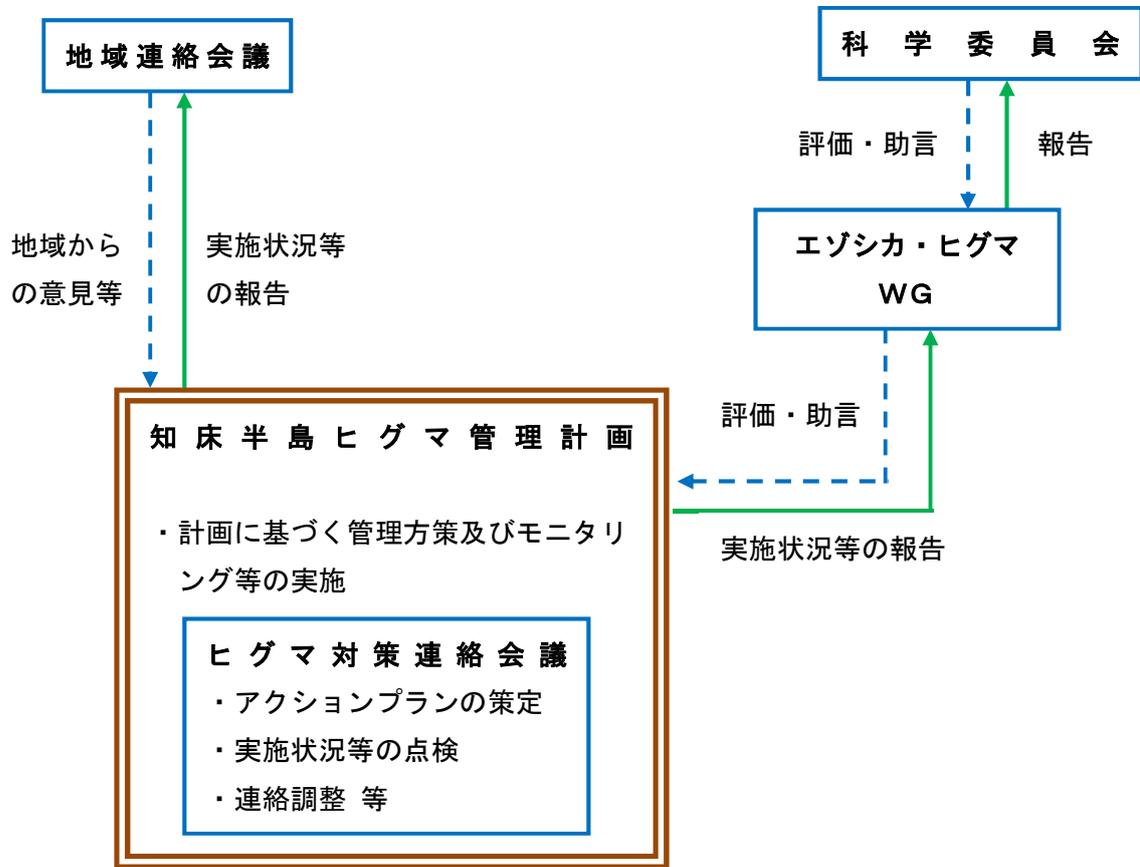
エゾシカ・ヒグマワーキンググループからの報告を受け、知床半島ヒグマ管理計画の実施に関する科学的な評価・助言を行う。

開催：2回程度／年度

知床世界自然遺産地域連絡会議

知床ヒグマ対策連絡会議事務局からの報告（知床半島ヒグマ管理計画の進捗や各種対策の実施状況等）を受け、地域からの意見を述べる。また、地域の理解・協力を得るために必要な議論・連絡調整等を行う。

開催：2回程度／年度



知床半島ヒグマ管理計画の進め方（イメージ）